

# 平成 29 年度 事業計画・収支予算書

公益財団法人福武財団

## I. 平成 29 年度事業計画

### 1. 平成 29 年度の基本方針

- 1) 美術施設運営のあり方の見直しと地域連携の強化
  - ①. 基幹美術施設における鑑賞滞在時間の充実促進
  - ②. 顧客毎の鑑賞プログラムの開発・実施
  - ③. アートと地域コンテンツを一体化した体験価値向上ソフト開発
  - ④. 地域関連施設との連携強化による地域への入り込みの推進
- 2) アートコンテンツの精選とアジアを中心とした海外ネットワークの構築
  - ①. 次期芸術祭に向けたアート企画の厳選とアート評価軸の策定
  - ②. アジア対応の推進とそれに通じたアート人材の育成と蓄積
- 3) 広報メディア対応の発信型への転換
  - ①. メディア、コンテンツ、メッセージの一体性の追求
  - ②. アジアを中心とした海外広報、発信型広報の深化
- 4) 助成事業の見直し
  - ①. 助成事業の新たなスキームの検討と助成サイクルの変更
- 5) ベネッセアートサイト直島の一体化運営と関係機関との連携強化
  - ①. 基本理念の再構築とマネジメント改革の実施

### 2. 平成 29 年度の事業計画

定款第 4 条に掲げる事業として、下記の事業を行う。

#### 1) 美術館及び美術施設の設置運営に関する事業

瀬戸内国際芸術祭 2016 が終了し、平成 29 年度は通常年としての美術館運営となる。従って、来館者数は通常年並み（に減少）と計画している。

- ①. 「地中美術館」の運営
  - 年間約 300 日を開館し、15 万 6 千人の来館者を迎える。
- ②. 「李禹煥美術館」の運営
  - 年間約 300 日を開館し、5 万人の来館者を迎える。
- ③. 「直島銭湯 I ♥ 湯」の運営
  - 年間約 300 日を開館し、3 万 4 千人の来館者を迎える。
- ④. 「ANDO MUSEUM」の運営
  - 年間約 300 日を開館し、4 万 5 千人の来館者を迎える。
- ⑤. 「宮浦ギャラリー六区」の運営
  - 当年度は、次期芸術祭に向けての準備・検討の年とし、開館の予定なし。

- ⑥. 美術施設（石橋・碁会所・はいしゃ）の管理
- (株)ベネッセホールディングスに、石橋等の美術施設を減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図る。
- ⑦. 「女根」の運営
- 年間約 80 日を開館し、1 千人の来館者を迎える。  
運営は NPO 法人瀬戸内こえびネットワークに委託する方式（鑑賞料収入も同法人に帰属）とする。
- ⑧. 「レアンドロ作品（不在の存在）」の運営
- 年間約 80 日を開館し、1 千人の来館者を迎える。  
運営は NPO 法人瀬戸内こえびネットワークに委託する方式（鑑賞料収入も同法人に帰属）とする。
- ⑨. 「犬島精錬所美術館及び犬島家プロジェクト」の運営
- 年間約 290 日を開館し、2 万 3 千人の来館者を迎える。また、美術施設関連施設として、「犬島くらしの植物園」、「犬島ステイ」の運営も行う。
- ⑩. 「豊島美術館」の運営
- 年間約 280 日を開館し、4 万 9 千人の来館者を迎える。
- ⑪. 「森万里子作品（トムナフーリ）」の運営
- 年間約 100 日を開館し、5 千人の来館者を迎える。
- ⑫. 「ボルタンスキー作品（心臓音のアーカイブ）」の運営
- 年間約 280 日を開館し、2 万 1 千人の来館者を迎える。
- ⑬. 「豊島横尾館」の運営
- 年間約 280 日を開館し、2 万 4 千人の来館者を迎える。
- ⑭. 「スプツニ子！作品（豊島八百万ラボ）」の運営
- 年間約 100 日を開館し、4 千人の来館者を迎える。
- ⑮. 「針工場」の運営
- 年間約 100 日を開館し、4 千人の来館者を迎える。  
運営は、NPO 法人瀬戸内こえびネットワークへの委託に変更する。
- ⑯. 「ボルタンスキー作品（ささやきの森）」の運営
- 年間約 100 日を開館し、4 千人の来館者を迎える。
- ⑰. 「福武ハウス」の運営
- 当年度は、次期芸術祭に向けての準備・検討の年とし、開館の予定なし。
- ⑱. 「美術館・美術施設における美術関連商品の販売及び休憩施設の設置」
- A. 「地中ストア」の運営
- オリジナル商品と地中美術館に関係する作家及び安藤忠雄の書籍類を販売する。

- B. 「李禹煥美術館ストア」の運営  
 オリジナル商品と関係する作家及び安藤忠雄に関する書籍類を販売する。
- C. 「直島銭湯 I ♥ 湯ストア」の運営  
 オリジナル商品及び大竹伸朗に関する書籍類を販売する。
- D. 「ANDO MUSEUM ストア」の運営  
 オリジナル商品と関係する安藤忠雄に関する書籍類を販売する。
- E. 「宮浦ギャラリー六区ストア」の運営  
 関連する作家の商品・書籍類を販売するが、当年度は休止予定。
- F. 「女根ストア」の運営  
 オリジナル商品と関係する書籍類を販売する（運営委託）。
- G. 「レアンドロカフェ」の運営  
 カフェにおいて飲み物を中心とした軽食を提供する（運営委託）。
- H. 「犬島ストア&カフェ」の運営  
 オリジナル商品と犬島精錬所に関係する作家の書籍類を販売する。また、カフェにおいて飲み物を中心とした軽食を提供する。また、犬島くらしの植物園においても、ストア&カフェの運営を予定している。
- I. 「豊島美術館ストア&カフェ」の運営  
 オリジナル商品と内藤礼及び西沢立衛に関する書籍類を販売する。また、カフェにおいて豊島で取れた食材を中心に、飲み物及び軽食を提供する。
- J. 「ボルタンスキーストア」の運営  
 オリジナル商品と作家に関する書籍類を販売する。
- K. 「豊島横尾館ストア」の運営  
 オリジナル商品と関係する横尾忠則に関する書籍類を販売する。
- L. 「豊島八百万ラボストア」の運営  
 絵馬、お守り、おみくじなどオリジナル商品とスプツニ子！に関連する書籍類を販売する。
- M. 「針工場ストア&カフェ」の運営  
 大竹伸朗に関するオリジナル商品を販売する。また、カフェにおいて地元食材を中心に、飲み物及び軽食を提供する。
- N. 「福武ハウスストアと福田アジア食堂」の運営  
 アジア関連商品と関連する書籍類を販売する。また、食堂においてアジアと地元の食文化を紹介した飲み物と軽食を提供するが、当年度は休止予定。
- O. 「地中カフェスペース」の運営委託  
 (株)ベネッセホールディングスに、地中カフェスペースを減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図る。

⑱. 美術研究の推進

- 美術館事業の基礎となる美術研究を進める。

特に、寄託を受けている国吉康雄作品に関連し、国吉康雄に関連する美術研究を推進する。

平成 29 年度の具体的な活動内容としては、次のとおり。

- ・ 岡山大学国吉康雄寄附講座への寄附による国吉研究の継続  
(平成 29 年度は、5 百万円の寄附金支払いを予定)
- ・ 企画展等での国吉作品展示による顕彰活動の継続
- ・ その他、若手国吉研究者の育成・発掘など

⑳. アーカイブの整備

- 美術品台帳、美術保存資料、動画ストレージなど、美術館としてのアーカイブ機能を整備し充実を図っていく。

㉑. 美術施設周辺での地域資源を活用した地域振興の推進

- 美術施設の周辺には、豊かな自然、素晴らしい景観、多様な建築物など、地元の地域資源が現存している。これらを顕在化させ体験プログラムの充実等により地域振興につなげる活動を推進する。

2) 美術に関するイベント並びに国際交流事業

①. 瀬戸内国際芸術祭 2019 (仮) の開催 (共催)

- 瀬戸内国際芸術祭 2019 (仮) の開催が決定され次第、開催準備に取り掛かる。

②. 教育普及及びプログラムの実施

- キッズインミュージアム (対象：小中学生)

五感で作品と触れ合うことにより、自己表現の感性を育むためのプログラムを小中学校と連携し、企画・実施する。

- プライベートツアー (対象：一般)

より鑑賞を深めたい来場者にギャラリーツアーを開催。

ミュージアムスタッフとともに巡る、美術館を体験するプログラムを提供する。

- ナイトプログラム (対象：一般)

地中美術館の一部の作品において開催。

日没にかけて異なる表情の作品を鑑賞するプログラムを提供する。

- 地域コンテンツとの一体化プログラム (対象：一般)

当財団のアートコンテンツと現存する地域コンテンツを一体化させた体験価値を向上させるプログラムを企画し提供する。

③. 「米&食プロジェクト」の実施

- 直島、豊島において米の栽培を通じ、地域の文化、環境、住民と触れ合うことで地域活性化につながるプログラムを提供する。豊島においては、「食とアート」に結び付く活動とする。

#### ④. 国際交流

- アジア各国と連携した相互国際交流を計画している。また、これらの活動を通じて、アジアとのネットワーク強化を図っていく。
- 平成 29 年度、日本とデンマークは修好 150 周年を迎える。これを記念して、デンマークとの相互国際交流プログラムの実施を計画している。

### 3) 美術に関する情報提供並びに出版事業

#### ①. 情報提供事業

- 当財団のホームページ以外に該当地域全域をカバーするウェブサイト「ベネッセアートサイト直島」を(株)ベネッセホールディングと共同で運営している。また、ツイッター等のソーシャルメディアを活用した情報発信も継続する。
- 広報活動分野においては、コンテンツとメディアの最適な組み合わせを再整理するとともに WEB コンテンツの充実を図っていく。また、海外へは、アジアを中心に幅広く情報発信を進めていく。

#### ②. 機関紙及び美術に関する出版物の刊行

##### A. NAOSHIMA NOTE

- NAOSHIMA NOTE を年 4 回発行する。

ベネッセアートサイト直島の活動全体を捉え、活動のコンセプト、メッセージ等を国内外に向けて発信する。

##### B. ハンドブック等の刊行

- 各施設のカatalog・ハンドブック等の刊行を行う。

各施設を訪れる方が感動を持ち帰ることができる刊行物とする。

### 4) 地域振興助成

- 文化と芸術による地域振興助成の内容

#### ①. 内容

地域の人々が主体的に地方公共団体等と協働し地域において自主的に実施する創造的で文化的な表現活動及び地域間交流並びにそれらを実現するための調査研究活動に対し、助成を行う。

#### ②. 助成対象内容

日本国内において実施される事業で、以下の要件を満たすもの。

- A. 地域の振興・発展に資する事業であること
- B. 地域住民と協働で行っている事業であること
- C. 継続性かつ発展性のある事業であること
- D. 主に現代アートを手法としている事業であること
- E. 営利を目的としない事業であること

### ③. 助成対象者

非営利団体、個人ほか当財団において適当と認めるもの。

### ④. 平成 29 年度の地域振興助成

- ・平成 29 年度は助成事業の新たなスキームの検討と助成サイクル変更のための移行年度とし、公募・選考は一年間休止とする。助成事業の安定化を考慮しつつ、助成財源が明確になってから助成金額規模を決定できるよう、そのサイクルを見直し変更していく。
- ・平成 29 年度は、助成の新しいプログラムの企画・検討を進めていく。
- ・平成 29 年 4 月実施予定の助成は、予定どおり実施する。

#### □平成 29 年 4 月実施予定の助成先

別議案として上程。

#### □地域振興助成に係る「成果発表会」

平成 29 年度は、助成サイクル変更等のため、成果発表会は休止とする。

## 5) 地域活動の共催支援

地域の人々が主体的に地方公共団体等と協働し地域において自主的に実施する創造的で文化的な表現活動及び地域間交流に対し、自らが関与（共催支援）して事業を行う。

#### □平成 29 年度共催支援（4 件）

- ①. 瀬戸内国際芸術祭 2019（仮）の企画・実施  
開催が決定され次第、積極的に活動を支援する。
  - ②. 大地の芸術祭（越後妻有アートトリエンナーレ 2018）  
開催に向けて、積極的に活動を支援する。
  - ③. 豊島唐櫃 棚田プロジェクト（香川県豊島）  
豊島「食プロジェクト」推進協議会の活動を積極的に支援する。
  - ④. 瀬戸内全誌（仮称）の刊行（香川県）  
瀬戸内全誌準備委員会の活動を積極的に支援する。
- 平成 29 年度自主・共催助成分：24,400 千円（上記 4 件合計）

## 6) 地域振興のためのファンドレイジング

- ①. ふるさと納税ファンドレイジングサイトの運営  
「ふるさと納税」寄附制度は地域振興に非常に大きな意味を持つと考えられ、これを支援し、紹介するファンドレイジングサイトを運営する。
- ②. 豊島唐櫃 棚田プロジェクトに関するファンドレイジング  
豊島唐櫃 棚田プロジェクトへの共催の一環として、棚田の維持管理のためのファンドレイジングを推進し、平成 29 年度は、豊島棚田収穫祭にて、ファンドレイジングにつなげるためのリスト収集を支援する。

## 7) 瀬戸内海文化研究・活動支援助成

### □瀬戸内海文化研究・活動支援助成の内容

#### ①. 内容

地域の固有性と多様性を持って持続的な発展をとげてきた瀬戸内海地域に焦点を当て、その「文化力」の向上と地域づくりに貢献する調査・研究や活動に対し、助成を行う。

#### ②. 助成対象内容

- A. 瀬戸内海地域の「文化力」を持続的・発展的に高めるための、人文・社会・自然諸科学に関する調査・研究、及びそれらの融合された分野に対する調査・研究への助成。
- B. 瀬戸内海地域の「文化力」向上のための活動への助成。
- C. 瀬戸内海地域の「文化力」向上のための学会・研究集会、講演会、展覧会、演奏会等の開催への助成、援助。なお、本対象には、犬島パフォーミングアーツ助成（公演助成および企画助成）も含む。

#### ③. 助成対象者：原則制限なし（個人・団体可）

#### ④. 平成 29 年度の瀬戸内海文化研究・活動支援助成

- ・平成 29 年度は助成事業の新たなスキームの検討と助成サイクル変更のための移行年度とし、公募・選考は一年間休止とする（ただし、C：犬島パフォーミングアーツ助成を除く）。助成事業の安定化を考慮しつつ、助成財源が明確になってから助成金額規模を決定できるよう、そのサイクルを見直し変更していく。
- ・平成 29 年度は、助成の新しいプログラムの企画・検討を進めていく。
- ・平成 29 年 4 月実施予定の助成は、予定どおり実施する。
- ・犬島パフォーミングアーツ助成のうち、企画助成分については、平成 29 年度 4 月より助成対象者がリサーチを行い、同年 9 月に企画プレゼンテーションを実施する。

### □平成 29 年 4 月実施予定の助成先

別議案として上程。

### □瀬戸内文化研究・活動支援助成に係る「成果発表会」

平成 29 年度は、助成サイクル変更等のため、成果発表会は休止とする。

## 8) 国際シンポジウムの開催

アジア・アート・プラットフォームとして、次期芸術祭に向けた公開準備会議の実施等を計画している。

## 9) 管理部門（法人会計）の計画

- ①. 芸術祭により肥大化した組織を筋肉質の組織へ変えるなど構造変革の推進



- ②. 新組織に見合った管理会計の整備と深化
- ③. 財務戦略と財政基盤の強化（積立金管理、資金運用の財源寄与度の拡大等）
- ④. マイナンバー導入 2 年目にあたりそれを含めたコンプライアンス強化
- ⑤. 理事会、評議員会など意思決定機関の確実な運営
- ⑥. 組織を取り巻く環境変化を捉えた要員計画の立案と優秀な人材の採用
- ⑦. スタッフ育成と中長期的視点での人材マネジメントの強化
- ⑧. ベネッセアートサイト直島の基本理念の再構築とマネジメント改革の推進
- ⑨. 古民家等再生に係る後方支援策等の検討・準備と担い手の開拓育成支援

上記の事業等を実施するにあたり「平成 29 年度収支予算」は次項に記載の通り。

## Ⅱ. 平成 29 年度収支予算書(平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日)

1 - 1) 収支予算書 (正味財産増減ベース)

(単位: 円)

科 目	平成29年度 当期予算①	平成28年度 前期2次修正予算②	増減 (①-②)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①. 基本財産運用益	[ 369,439,486 ]	[ 344,764,375 ]	[ 24,675,111 ]
基本財産受取利息	51,797,486	27,122,375	24,675,111
基本財産受取配当金	317,642,000	317,642,000	0
②. 特定資産運用益	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
③. 事業収益	[ 738,585,203 ]	[ 1,027,851,844 ]	[ △ 289,266,641 ]
④. 受取寄附金	[ 0 ]	[ 152,428,048 ]	[ △ 152,428,048 ]
受取寄附金	0	762,048	△ 762,048
受取寄附金振替額	0	151,666,000	△ 151,666,000
⑤. 雑収益	[ 24,000 ]	[ 2,429,460 ]	[ △ 2,405,460 ]
受取利息	24,000	9,845	14,155
雑収益	0	2,419,615	△ 2,419,615
経常収益計	1,108,048,689	1,527,473,727	△ 419,425,038
(2) 経常費用			
①. 事業費	[ 1,030,157,445 ]	[ 1,418,417,656 ]	[ △ 388,260,211 ]
期首棚卸高	78,373,496	60,060,601	18,312,895
仕入高	105,301,872	167,357,980	△ 62,056,108
期末棚卸高	△ 82,352,472	△ 78,373,496	△ 3,978,976
給与手当	279,879,230	320,850,868	△ 40,971,638
臨時雇賃金	49,945,800	75,042,232	△ 25,096,432
退職給付費用	4,469,500	5,013,737	△ 544,237
福利厚生費	50,011,073	57,503,387	△ 7,492,314
旅費交通費	27,869,290	25,697,305	2,171,985
通信運搬費	14,383,077	15,152,417	△ 769,340
什器備品費	600,000	2,014,550	△ 1,414,550
消耗品費	9,083,083	21,441,052	△ 12,357,969
減価償却費	170,020,000	178,466,000	△ 8,446,000
修繕費	61,927,897	81,691,463	△ 19,763,566
印刷製本費	8,171,548	8,653,925	△ 482,377
燃料費	2,828,020	2,709,210	118,810
光熱水料費	24,523,324	26,631,582	△ 2,108,258
賃借料	22,233,724	21,352,024	881,700
保険料	13,422,976	28,198,511	△ 14,775,535
諸謝金	17,506,000	11,284,108	6,221,892
租税公課	38,461,821	47,381,986	△ 8,920,165
負担金	0	95,000,000	△ 95,000,000
助成費	64,966,000	68,740,674	△ 3,774,674
寄附金	5,000,000	10,000,000	△ 5,000,000
宣伝広告費	12,644,000	81,157,644	△ 68,513,644
会議費	1,818,000	2,342,182	△ 524,182
交際費	2,229,167	3,552,942	△ 1,323,775
委託費	39,851,237	72,928,235	△ 33,076,998
雑費	6,989,782	6,566,537	423,245

## 1-2) 収支予算書(正味財産増減ベース)

(単位:円)

科 目	平成29年度 当期予算①	平成28年度 前期2次修正予算②	増減(①-②)
②. 管理費	[ 120,522,000 ]	[ 116,684,736 ]	[ 3,837,264 ]
役員報酬	1,050,000	850,000	200,000
給与手当	56,663,900	52,293,104	4,370,796
臨時雇賃金	320,000	1,027,894	△ 707,894
退職給付費用	1,654,200	902,043	752,157
福利厚生費	10,087,800	9,195,440	892,360
旅費交通費	13,691,292	13,524,180	167,112
通信運搬費	4,694,318	4,866,772	△ 172,454
消耗品費	860,000	571,865	288,135
減価償却費	522,000	825,000	△ 303,000
修繕費	500,000	1,237,752	△ 737,752
印刷製本費	1,584,000	1,374,074	209,926
燃料費	611,776	507,197	104,579
光熱水料費用	97,094	61,830	35,264
賃借料	6,147,597	5,968,325	179,272
保険料	299,380	288,855	10,525
諸謝金	2,280,440	2,964,421	△ 683,981
租税公課	206,763	239,163	△ 32,400
会議費	8,735,000	8,465,680	269,320
交際費	620,000	1,025,170	△ 405,170
委託費	7,976,440	8,873,019	△ 896,579
雑費	1,920,000	1,622,952	297,048
経常費用計	1,150,679,445	1,535,102,392	△ 384,422,947
評価損益等計上前当期経常増減額	△ 42,630,756	△ 7,628,665	△ 35,002,091
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 42,630,756	△ 7,628,665	△ 35,002,091
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①. 有価証券売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 42,630,756	△ 7,628,665	△ 35,002,091
一般正味財産期首残高	5,538,950,194	5,546,578,859	△ 7,628,665
一般正味財産期末残高	5,496,319,438	5,538,950,194	△ 42,630,756
II 指定正味財産増減の部			
基本財産受取利息	51,941,486	50,031,012	1,910,474
基本財産受取配当金	270,560,000	270,560,000	0
特定資産受取利息	1,673,954	1,674,449	△ 495
一般正味財産への振替額	△ 164,239,486	△ 291,230,375	126,990,889
当期指定正味財産増減額	159,935,954	31,035,086	128,900,868
指定正味財産期首残高	36,289,517,013	36,258,481,927	31,035,086
指定正味財産期末残高	36,449,452,967	36,289,517,013	159,935,954
III 正味財産期末残高	41,945,772,405	41,828,467,207	117,305,198

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①. 基本財産運用益	[ 108,797,486 ]	[ 108,797,486 ]	[ 260,642,000 ]	[ 0 ]	[ 369,439,486 ]
基本財産受取利息	51,797,486	51,797,486	0	0	51,797,486
基本財産受取配当金	57,000,000	57,000,000	260,642,000	0	317,642,000
②. 特定資産運用益	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
③. 事業収益	[ 738,585,203 ]	[ 738,585,203 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 738,585,203 ]
④. 受取寄附金	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
受取寄附金	0	0	0	0	0
受取寄附金振替額	0	0	0	0	0
⑤. 雑収益	[ 24,000 ]	[ 24,000 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 24,000 ]
受取利息	24,000	24,000	0	0	24,000
雑収益	0	0	0	0	0
経常収益計	847,406,689	847,406,689	260,642,000	0	1,108,048,689
(2) 経常費用					
①. 事業費	[ 1,030,157,445 ]	[ 1,030,157,445 ]		[ 0 ]	[ 1,030,157,445 ]
期首棚卸高	78,373,496	78,373,496		0	78,373,496
仕入高	105,301,872	105,301,872		0	105,301,872
期末棚卸高	△ 82,352,472	△ 82,352,472		0	△ 82,352,472
給与手当	279,879,230	279,879,230		0	279,879,230
臨時雇賃金	49,945,800	49,945,800		0	49,945,800
退職給付費用	4,469,500	4,469,500		0	4,469,500
福利厚生費	50,011,073	50,011,073		0	50,011,073
旅費交通費	27,869,290	27,869,290		0	27,869,290
通信運搬費	14,383,077	14,383,077		0	14,383,077
什器備品費	600,000	600,000		0	600,000
消耗品費	9,083,083	9,083,083		0	9,083,083
減価償却費	170,020,000	170,020,000		0	170,020,000
修繕費	61,927,897	61,927,897		0	61,927,897
印刷製本費	8,171,548	8,171,548		0	8,171,548
燃料費	2,828,020	2,828,020		0	2,828,020
光熱水料費	24,523,324	24,523,324		0	24,523,324
賃借料	22,233,724	22,233,724		0	22,233,724
保険料	13,422,976	13,422,976		0	13,422,976
諸謝金	17,506,000	17,506,000		0	17,506,000
租税公課	38,461,821	38,461,821		0	38,461,821
負担金	0	0		0	0
助成費	64,966,000	64,966,000		0	64,966,000
寄附金	5,000,000	5,000,000		0	5,000,000
宣伝広告費	12,644,000	12,644,000		0	12,644,000
会議費	1,818,000	1,818,000		0	1,818,000
交際費	2,229,167	2,229,167		0	2,229,167
委託費	39,851,237	39,851,237		0	39,851,237
雑費	6,989,782	6,989,782		0	6,989,782

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	小計			
②. 管理費			[ 120,522,000 ]	[ 0 ]	[ 120,522,000 ]
役員報酬			1,050,000	0	1,050,000
給与手当			56,663,900	0	56,663,900
臨時雇賃金			320,000	0	320,000
役員退職給付費用			0	0	0
退職給付費用			1,654,200	0	1,654,200
福利厚生費			10,087,800	0	10,087,800
旅費交通費			13,691,292	0	13,691,292
通信運搬費			4,694,318	0	4,694,318
什器備品費			0	0	0
消耗品費			860,000	0	860,000
減価償却費			522,000	0	522,000
修繕費			500,000	0	500,000
印刷製本費			1,584,000	0	1,584,000
燃料費			611,776	0	611,776
光熱水料費			97,094	0	97,094
賃借料			6,147,597	0	6,147,597
保険料			299,380	0	299,380
諸謝金			2,280,440	0	2,280,440
租税公課			206,763	0	206,763
寄附金			0	0	0
会議費			8,735,000	0	8,735,000
交際費			620,000	0	620,000
委託費			7,976,440	0	7,976,440
支払利息			0	0	0
雑費			1,920,000	0	1,920,000
経常費用計	1,030,157,445	1,030,157,445	120,522,000	0	1,150,679,445
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 182,750,756	△ 182,750,756	140,120,000	0	△ 42,630,756
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 182,750,756	△ 182,750,756	140,120,000	0	△ 42,630,756
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	57,740,000	57,740,000	△ 57,740,000	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 125,010,756	△ 125,010,756	82,380,000	0	△ 42,630,756
一般正味財産期首残高	5,369,218,375	5,369,218,375	169,731,819	0	5,538,950,194
一般正味財産期末残高	5,244,207,619	5,244,207,619	252,111,819	0	5,496,319,438
II 指定正味財産増減の部					
基本財産受取利息	51,941,486	51,941,486	0	0	51,941,486
基本財産受取配当金	215,118,000	215,118,000	55,442,000	0	270,560,000
特定資産受取利息	1,673,954	1,673,954	0	0	1,673,954
一般正味財産への振替額	△ 108,797,486	△ 108,797,486	△ 55,442,000	0	△ 164,239,486
当期指定正味財産増減額	159,935,954	159,935,954	0	0	159,935,954
指定正味財産期首残高	27,400,253,013	27,400,253,013	8,889,264,000	0	36,289,517,013
指定正味財産期末残高	27,560,188,967	27,560,188,967	8,889,264,000	0	36,449,452,967
III 正味財産期末残高	32,804,396,586	32,804,396,586	9,141,375,819	0	41,945,772,405

勘定科目		平成29年度 当期予算①	平成28年度 前期2次修正予算②	前期比較 増減①-②	備考 (主な増減理由)
大科目	中科目				
I	事業活動収支の部				
1.	事業活動収入				
①	基本財産運用収入	527,701,486	525,791,012	1,910,474	運用商品組み替えによる収入増
②	特定資産運用収入	1,673,954	1,674,449	△ 495	
③	事業収入	738,585,203	1,027,851,844	△ 289,266,641	芸術祭年⇒通常年による収入減
④	寄附金収入	0	762,048	△ 762,048	前年度にあった寄附金なし
⑤	雑収入	24,000	2,429,460	△ 2,405,460	
	事業活動収入計	1,267,984,643	1,558,508,813	△ 290,524,170	
2.	事業活動支出				
①	事業費支出				
	仕入高	105,301,872	167,357,980	△ 62,056,108	芸術祭年⇒通常年による仕入減
	給与手当支出	279,879,230	320,850,868	△ 40,971,638	芸術祭年⇒通常年による要員リム化
	臨時雇賃金支出	49,945,800	75,042,232	△ 25,096,432	芸術祭年⇒通常年による要員リム化
	退職給付支出	4,469,500	5,013,737	△ 544,237	芸術祭年⇒通常年による要員リム化
	福利厚生費支出	50,011,073	57,503,387	△ 7,492,314	芸術祭年⇒通常年による要員リム化
	旅費交通費支出	27,869,290	25,697,305	2,171,985	デマーク他との相互交流による増加
	通信運搬費支出	14,383,077	15,152,417	△ 769,340	芸術祭年⇒通常年による減少
	什器備品費支出	600,000	2,014,550	△ 1,414,550	芸術祭年⇒通常年による減少
	消耗品費支出	9,083,083	21,441,052	△ 12,357,969	芸術祭年⇒通常年による減少
	修繕費支出	61,927,897	81,691,463	△ 19,763,566	定期メンテナンス費用の削減による
	印刷製本費支出	8,171,548	8,653,925	△ 482,377	
	燃料費支出	2,828,020	2,709,210	118,810	
	光熱水料費支出	24,523,324	26,631,582	△ 2,108,258	芸術祭年⇒通常年による減少
	賃借料支出	22,233,724	21,352,024	881,700	
	保険料支出	13,422,976	28,198,511	△ 14,775,535	保険付保内容の見直しによる削減
	諸謝金支出	17,506,000	11,284,108	6,221,892	科目の振替による増加
	租税公課支出	38,461,821	47,381,986	△ 8,920,165	芸術祭年⇒通常年による消費税の減少
	支払負担金支出	0	95,000,000	△ 95,000,000	前年にあった芸術祭負担金なし
	助成費支出	64,966,000	68,740,674	△ 3,774,674	パフォーミングアーツ公演助成の対象者なし
	寄附金支出	5,000,000	10,000,000	△ 5,000,000	前年にあった芸術祭協賛金なし
	宣伝広告費支出	12,644,000	81,157,644	△ 68,513,644	芸術祭作品設置費なしによる
	会議費支出	1,818,000	2,342,182	△ 524,182	芸術祭年⇒通常年による減少
	交際費支出	2,229,167	3,552,942	△ 1,323,775	芸術祭年⇒通常年による減少
	委託費支出	39,851,237	72,928,235	△ 33,076,998	前年にあったパフォーミングアーツなし
	雑費支出	6,989,782	6,566,537	423,245	
	小計	864,116,421	1,258,264,551	△ 394,148,130	
②	管理費支出				
	仕入高	0	0	0	
	役員報酬支出	1,050,000	850,000	200,000	
	給与手当支出	56,663,900	52,293,104	4,370,796	一時的な要員増による
	臨時雇賃金支出	320,000	1,027,894	△ 707,894	
	退職給付支出	1,654,200	902,043	752,157	一時的な要員増による
	福利厚生費支出	10,087,800	9,195,440	892,360	一時的な要員増による
	旅費交通費支出	13,691,292	13,524,180	167,112	
	通信運搬費支出	4,694,318	4,866,772	△ 172,454	
	消耗品費支出	860,000	571,865	288,135	
	修繕費支出	500,000	1,237,752	△ 737,752	事務所修繕費の削減
	印刷製本費支出	1,584,000	1,374,074	209,926	
	燃料費支出	611,776	507,197	104,579	
	光熱水料費支出	97,094	61,830	35,264	
	賃借料支出	6,147,597	5,968,325	179,272	
	保険料支出	299,380	288,855	10,525	
	諸謝金支出	2,280,440	2,964,421	△ 683,981	人事コンサルタント費等の削減
	租税公課支出	206,763	239,163	△ 32,400	
	会議費支出	8,735,000	8,465,680	269,320	
	交際費支出	620,000	1,025,170	△ 405,170	
	委託費支出	7,976,440	8,873,019	△ 896,579	ファシリテーター費用等の削減
	雑費支出	1,920,000	1,622,952	297,048	
	小計	120,000,000	115,859,736	4,140,264	
	事業活動支出計	984,116,421	1,374,124,287	△ 390,007,866	
	事業活動収支差額	283,868,222	184,384,526	99,483,696	

勘定科目		平成29年度 当期予算①	平成28年度 前期2次修正予算②	前期比較 増減①-②	備考 (主な増減理由)
大科目	中科目				
II	投資活動収支の部				
1.	投資活動収入				
①	基本財産取崩収入	0	0	0	
②	特定資産取崩収入	0	148,210,000	△ 148,210,000	通常年につき芸術祭積立の取崩なし
	特定資産取崩収入	0	3,456,000	△ 3,456,000	当年度は修繕積立の取崩なし
	特定資産取崩収入	0	0	0	
③	敷金戻入収入	0	0	0	
	投資活動収入計	0	151,666,000	△ 151,666,000	
2.	投資活動支出				
①	基本財産取得支出	144,000	22,908,637	△ 22,764,637	分配金の再投資から一般財源への振替
②	その他固定資産取得支出	39,500,000	101,262,163	△ 61,762,163	芸術祭年⇒通常年による固定資産支出の減少
③	特定資産取得支出	159,791,954	71,442,449	88,349,505	芸術祭積立資産への繰り入れ増加
	特定資産取得支出	0	0	0	
	特定資産取得支出	0	88,350,000	△ 88,350,000	当年度は修繕積立への積立なし
	特定資産取得支出	82,380,000	50,000,000	32,380,000	事務所積立の増加
	投資活動支出計	281,815,954	333,963,249	△ 52,147,295	
	投資活動収支差額	△ 281,815,954	△ 182,297,249	△ 99,518,705	
III	財務活動収支の部				
1.	財務活動収入				
①	借入金収入	0	0	0	
	財務活動収入計	0	0	0	
2.	財務活動支出				
①	借入金返済支出	0	0	0	
	財務活動支出計	0	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
IV	予備費支出	0	0	0	
	当期収支差額	2,052,268	2,087,277	△ 35,009	
	前期繰越収支差額	24,118,388	22,031,111	2,087,277	
	次期繰越収支差額	26,170,656	24,118,388	2,052,268	

【参考】平成 29 年度収支予算 – 島別施設別

(単位：千円)

勘定科目		直島・女木島グループ							
大科目	中科目	地中	李	銭湯	ANDO	六区		女根&リアンド	計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	296,426	47,747	16,909	21,477	0		0	382,559
	公益販売事業収入	81,713	15,691	22,435	6,983	0		0	126,822
	小計	378,139	63,438	39,344	28,460	0		0	509,380
その他収入	雑収入他	0	0	0	0	0		0	0
<b>事業活動収入計</b>		<b>378,139</b>	<b>63,438</b>	<b>39,344</b>	<b>28,460</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	<b>509,380</b>
2. 事業活動支出									
事業費支出		235,031	47,001	39,266	19,523	939		1,457	343,217
事業活動支出計		235,031	47,001	39,266	19,523	939		1,457	343,217
事業活動収支差額	【当期予算】	143,108	16,437	78	8,937	△ 939		△ 1,457	166,164
	【前期第2次修正予算】	179,198	28,969	2,123	21,917	3,650		△ 1,727	234,131
	増減	△ 36,090	△ 12,533	△ 2,045	△ 12,980	△ 4,589		270	△ 67,967

勘定科目		犬島・豊島・小豆島グループ							
大科目	中科目	犬島	豊島美・森・ささやき	ボル	横尾館	八百万ラボ	針工場	福武ハウス	計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	46,630	72,680	10,231	11,832	2,231	2,244	0	145,848
	公益販売事業収入	22,233	53,469	5,987	1,267	330	70	0	83,357
	小計	68,863	126,149	16,218	13,099	2,562	2,314	0	229,205
その他収入	雑収入他	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>事業活動収入計</b>		<b>68,863</b>	<b>126,149</b>	<b>16,218</b>	<b>13,099</b>	<b>2,562</b>	<b>2,314</b>	<b>0</b>	<b>229,205</b>
2. 事業活動支出									
事業費支出		82,910	111,416	10,434	13,046	3,666	1,105	1,464	224,042
事業活動支出計		82,910	111,416	10,434	13,046	3,666	1,105	1,464	224,042
事業活動収支差額	【当期予算】	△ 14,047	14,733	5,783	53	△ 1,105	1,209	△ 1,464	5,163
	【前期第2次修正予算】	△ 4,839	61,686	10,078	8,197	555	5,818	△ 649	80,847
	増減	△ 9,208	△ 46,954	△ 4,295	△ 8,144	△ 1,660	△ 4,608	△ 815	△ 75,684